



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月10日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社
 コード番号 6380 URL <http://www.ocm.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 076-276-1155

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,678	3.9	54	21.6	51	16.5	30	21.0
29年3月期第2四半期	1,615	△6.0	44	△51.4	43	△49.5	25	△55.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	2.10	—
29年3月期第2四半期	1.74	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
30年3月期第2四半期	3,501	95.99	1,403	40.1	95.99	
29年3月期	3,514	93.44	1,366	38.9	93.44	

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 1,403百万円 29年3月期 1,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,377	3.8	117	42.3	103	20.3	62	△60.6	4.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	14,672,333 株	29年3月期	14,672,333 株
30年3月期2Q	54,050 株	29年3月期	53,111 株
30年3月期2Q	14,618,846 株	29年3月期2Q	14,621,084 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移したとみられます。一方、米国政権の政策動向や中東・東アジア地域における地政学リスクの高まり等海外情勢の不安定さもあり、先行きは依然として不透明な状況が見込まれます。

このような状況下において当社は、市場の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化や、工場の生産性を高める取り組みを継続・強化してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は1,678百万円（前年同四半期比3.9%増）となり、増収による影響で、営業利益54百万円（前年同四半期比21.6%増）、経常利益51百万円（前年同四半期比16.5%増）、四半期純利益30百万円（前年同四半期比21.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①チェーン事業

国内では、搬送機械業界、土木建機業界向けが好調に推移しましたが、運搬機械業界向けが減少しました。一方、輸出においては、アジア、北米、南米向けが増加しました。これらの結果、売上高は1,602百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益は149百万円（前年同四半期比49.7%増）となりました。

②金属射出成形事業

医療機器分野を中心に受注拡大に務めました。モデルチェンジによる自動車用部品の販売が大きく減少しました。その結果、売上高は75百万円（前年同四半期比43.2%減）、営業利益は4百万円（前年同四半期比81.1%減）となりました。

③その他事業

その他事業につきましては、賃貸ビルの改修工事により、売上高はなく（前年同四半期は20百万円）、営業損失は3百万円（前年同四半期は営業利益15百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は3,501百万円で前期末に比べて13百万円減少しました。これは、前期末と比べ、売掛金が67百万円増加し、現金及び預金が78百万円、受取手形が19百万円減少したことを主要因として、流動資産が2,302百万円と28百万円減少したこと、また、投資有価証券が7百万円増加したことを主要因として、固定資産が1,198百万円と15百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、2,098百万円で、前期末に比べて50百万円減少しました。これは、前期末と比べ、支払手形が5百万円、短期借入金が22百万円、預り金（流動負債その他）が7百万円、設備支払手形（流動負債その他）が16百万円増加し、未払法人税等が7百万円減少したことを主要因として、流動負債が1,490百万円と54百万円増加したこと、また退職給付引当金が18百万円増加し、社債が13百万円、長期借入金が107百万円減少したこと等により、固定負債が607百万円と105百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、1,403百万円で、前期末と比べ37百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益の計上30百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は40.1%になりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期累計期間及び平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	425,466	347,437
受取手形	685,281	665,668
売掛金	430,102	497,236
商品及び製品	190,690	183,005
仕掛品	329,340	333,517
原材料及び貯蔵品	226,066	227,861
その他	45,074	48,313
貸倒引当金	△250	△260
流動資産合計	2,331,770	2,302,780
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	170,321	164,823
機械及び装置(純額)	341,926	321,045
土地	246,442	246,442
建設仮勘定	29,392	52,898
その他(純額)	27,066	27,384
有形固定資産合計	815,149	812,594
無形固定資産	14,122	15,849
投資その他の資産		
投資有価証券	143,808	151,666
その他	210,827	219,196
貸倒引当金	△1,044	△754
投資その他の資産合計	353,591	370,109
固定資産合計	1,182,863	1,198,552
資産合計	3,514,634	3,501,333

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	442,519	448,013
買掛金	156,604	155,859
短期借入金	612,902	635,278
未払法人税等	37,331	29,484
賞与引当金	37,182	37,969
その他	149,378	184,284
流動負債合計	1,435,918	1,490,888
固定負債		
社債	30,400	17,100
長期借入金	348,592	240,598
退職給付引当金	294,302	312,402
役員退職慰労引当金	38,620	37,194
その他	752	—
固定負債合計	712,668	607,295
負債合計	2,148,586	2,098,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	114,646	145,341
自己株式	△5,631	△5,738
株主資本合計	1,344,194	1,374,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,852	28,365
評価・換算差額等合計	21,852	28,365
純資産合計	1,366,047	1,403,148
負債純資産合計	3,514,634	3,501,333

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,615,642	1,678,611
売上原価	1,330,916	1,376,490
売上総利益	284,725	302,120
販売費及び一般管理費	240,087	247,850
営業利益	44,638	54,270
営業外収益		
受取利息	40	46
受取配当金	2,772	2,980
助成金収入	10,000	—
為替差益	—	2,237
その他	1,579	1,425
営業外収益合計	14,392	6,690
営業外費用		
支払利息	7,413	6,457
売上割引	2,640	2,558
為替差損	4,246	—
その他	763	734
営業外費用合計	15,063	9,751
経常利益	43,967	51,210
特別利益		
固定資産売却益	—	119
特別利益合計	—	119
特別損失		
固定資産廃棄損	0	399
特別損失合計	0	399
税引前四半期純利益	43,967	50,930
法人税、住民税及び事業税	18,598	24,356
法人税等調整額	—	△4,120
法人税等合計	18,598	20,235
四半期純利益	25,369	30,694

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	43,967	50,930
減価償却費	64,607	63,201
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△279
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,440	787
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,239	18,100
役員退職慰労金の支払額	—	△1,426
受取利息及び受取配当金	△2,812	△3,027
支払利息	7,413	6,457
為替差損益 (△は益)	330	△80
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△119
固定資産廃棄損	0	399
売上債権の増減額 (△は増加)	72,439	△46,941
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,500	1,712
仕入債務の増減額 (△は減少)	△48,152	4,748
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,837	△12,169
長期前払費用の増減額 (△は増加)	586	487
その他	6,574	7,056
小計	151,969	89,835
利息及び配当金の受取額	2,812	3,027
利息の支払額	△7,370	△6,275
法人税等の支払額	△2,510	△30,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,901	55,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△70,082	△17,383
有形固定資産の売却による収入	—	120
無形固定資産の取得による支出	△345	△6,000
投資有価証券の取得による支出	△782	△781
貸付けによる支出	△4,070	—
貸付金の回収による収入	819	630
定期預金の預入による支出	△80,000	△80,000
定期預金の払戻による収入	80,000	80,000
その他	△5,008	△5,229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,469	△28,645
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	20,000
長期借入金の返済による支出	△109,009	△105,618
社債の償還による支出	△17,300	△17,300
自己株式の取得による支出	—	△106
割賦債務の返済による支出	△2,257	△2,257
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,566	△105,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	△330	80
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△63,464	△78,028
現金及び現金同等物の期首残高	254,483	255,466
現金及び現金同等物の四半期末残高	191,019	177,437

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,461,654	133,749	1,595,403	20,238	1,615,642	—	1,615,642
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,461,654	133,749	1,595,403	20,238	1,615,642	—	1,615,642
セグメント利益	99,796	24,667	124,464	15,538	140,002	△95,364	44,638

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに
帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,602,683	75,927	1,678,611	—	1,678,611	—	1,678,611
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,602,683	75,927	1,678,611	—	1,678,611	—	1,678,611
セグメント利益又は損失 (△)	149,419	4,667	154,087	△3,837	150,249	△95,979	54,270

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグ
メントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。